

はじめに

文京区では、世界の恒久平和と永遠の繁栄を願い、「文京区平和宣言（昭和54年12月7日）」を、さらに、わが国が唯一の被爆国として、被爆の恐ろしさと被爆者の苦しみを全世界の人々に訴え、二度と広島・長崎の惨禍を繰り返さないことを願い、「文京区非核平和都市宣言（昭和58年7月13日）」を行いました。

本年7月、「文京区非核平和都市宣言」から40年を迎えました。これを記念し、あらためて平和の尊さを考え、区民の平和意識の高揚を図るため、文京区として初めて中学生を被爆地に派遣し、平和について学ぶ「文京区平和特派員事業」を実施しました。

本事業は、文京区に住む中学生が、同世代の仲間と実際に被爆地を訪れ、体験・体感したことを周囲の人々に発信し、戦争の悲惨さや平和の尊さについて伝え広げてもらうことで、参加者だけにとどまらず、より多くの方の平和に対する理解を深めることを目的としています。

この報告書を通して、文京区平和特派員が学び、感じたことを1人でも多くの方にご覧いただき、平和について考えるきっかけとなれば幸いです。

令和5年11月 文京区

